

よかところ歩き

上川端商店街

博多商人の歴史、文化、伝統を担う街



博多・川端の四季特集



上川端通商店街の通年行事は博多の風物詩となるものばかり。上川端商店街振興組合の正木さん
に商店街の魅力をレポートしてもらいました。
(右:上川端商店街振興組合専務理事 正木研次さん 左:輝く女性プロジェクト代表 森咲子さん)

5月博多どんたく港まつり

5月3日と5月4日の2日間にわたり、主として「どんたく隊」と呼ばれる様々なグループが演舞を披露するもの。上川端商店街では博多川端好いとたいが参加し、演舞台として被災地跡がステージになっている。



12月せいもん払い

明治12年。博多下川端の漬物商の金山堂八尋利兵衛さんが大阪の蛭子祭の誓文払いをヒントに発案し、博多ではじめたもの。博多商人の商売への感謝祭のようなものとして博多の冬の訪れを告げる風物詩。



7月博多祇園山笠

博多を代表する700年以上の伝統の祭り。上川端通の飾り山笠のみが「走る飾り山笠」として追い山ならしや追い山で「櫛田入り」を奉納している。川端ぜんざい広場に八番山笠上川端通りが設置されている。

2月節分福市

商店街に隣接した櫛田神社では鳥居に高さ3メートル半のお多福をしつらえ、前日、午前6時ごろから神前で鬼神楽、そして当日は当日は能舞台から知名士や年男たちが厄よけ、開運のために群衆に豆やミカンが投げられる。(博多の絵日記より抜粋)



よかところやけん、来てみんしゃ〜い!

博多で最初に栄えた商業の町を支える上川端商店街振興組合のみなさん。

上川端商店街振興組合 <http://www.hakata.or.jp>

川端ぜんざい

大正初期に創業された川端ぜんざい。閉店後、味の復刻を願う人々の声もあり市民の憩いの場として上川端商店街が運営することに。夏限定の氷ぜんざいもオススメです。

